

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|            |  |   |
|------------|--|---|
| 事故等番号      | 2010広第49号  |   |
| 事故等種類      | 衝突   |   |
| 発生日時       | 平成22年3月31日 19時35分ごろ  |   |
| 発生場所       | 兵庫県家島諸島西方沖 姫路市院下島灯台から真方位252° 4.2海里付近<br>(概位 北緯34° 37.8′ 東経134° 21.3′)  |   |
| 事故等調査の経過   | 平成22年4月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。   |   |
| 事実情報       | <p>船種船名、総トン数<br/>船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 敬和丸、335トン<br/>131684、甲子汽船有限会社</p> <p>B 引船 第三明祐、19トン<br/>260-42596兵庫、大協海運株式会社</p> <p>C はしけ 第二三広丸、全長43m、幅10.5m<br/>なし、広瀬産業海運株式会社</p> |   |
| 乗組員等に関する情報 | <p>A 船長、四級海技士（航海）</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士</p>  |   |
| 死傷者等       | なし   |   |
| 損傷         | <p>A バルバスバウに凹損</p> <p>B なし</p> <p>C 左舷中央部に凹損</p>   |   |
| 事故等の経過     | A船は、船長Aほか3人が乗り組み、家島西方の播磨灘を北西進中、B船は、船長Bほか1人が乗り組み、C船ほか1隻をえい航してB船引船列を構成し、家島西方の播磨灘を南西進中、平成22年3月31日19時35分ごろ、A船の船首部とC船の左舷中央部とが衝突した。  |   |
| 気象・海象      | <p>気象：天気 曇り、風向 南、風速 約2m/s</p> <p>海象：平穏</p>   |   |
| 分析         | 乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析  | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、家島諸島西方沖を北西進中、船長Aが、目的地での錨泊地を選定するため、海図を見ることに意識を集中し、適切な見張りを行わずに航行し、B船引船列との接近に気付くのが遅れたものと考えられる。</p> <p>B船引船列は、南西進中、A船に対し、船長Bが、サーチライトによる照射を行ったのみで、適切な見張りを行わずに航行し、A船の接近に気付かなかったものと考えられる。</p> |
| 原因         | 本事故は、夜間、家島諸島西方沖において、A船が北西進中、B船引船   |   |

|  |  |
|--|--|
|  | 列が南西進中、両船が適切な見張りを行わずに航行したため、A船とC船が衝突したことにより発生したものと考えられる。 |
|--|--|